

絵本にふれる機会を増やそう

いろいろな場所で
絵本と出会えます。



滋賀県立図書館をはじめ、県内全
市町に公共図書館があります。



地域によっては移動図書館が
まわってきます。



子育て支援センターや公民館、
児童館など、絵本を読める施設
もあります。

県民一人あたりの図書貸出し
冊数は、全国トップレベル！

滋賀県立図書館HP内の「こ
どものページ」には絵本や
紙芝居の検索、おはなし会
などの情報がいっぱい！



乳幼児・保護者向け

子ども読書啓発冊子（滋賀県生涯学習課発行）

- 読みたい、読んであげたい絵本の情報が
いっぱい！
- 滋賀県学習情報提供システムにおねっと
「子ども読書活動支援センター」のページ
に掲載しています。

※小学校下学年向け、上学年向け、中高生世代向けもあり
ます。

コトバが育つ ココロが育つ おうちで読書

本とおした親子の心のつながりは、子どもにとって楽しい経験となり、
読書好きの子どもを育てます。

「読み聞かせ」は、子どもの情緒や想像力を育て、ことばを覚える機会に
もなります。

親にとっても子どものすてきな表情をとおして、子育ての楽しさを感じる
ひとときとなります。

まずは、「読み聞かせ」からスタートし、家族で読書を楽しむ時間をつくり
ませんか。

「おうちで読書」についてもっと知ろう

ホームページを
見ると、最新情報を知る
ことができます。



生涯学習マスコット
「マナビィ」

におねっと おうちで読書 

「おうちで読書」について

① 「おうちで読書」啓発リーフレット

「おうちで読書」とは、家庭で読書の習慣を身につけ、発達段階に応じた読書活
動をとおして親子の思いを伝え合い、コミュニケーションを図る取組の合い言葉で
す。決まったルールやスタイルはありません。



Q 方法は？

企業のイベントや研修、子育てサークルの場、県内大型書店、市町のイベントや乳幼児健診等の会場の一角
に「おうちで読書」ブースを出展し、「推進チーム」の読書ボランティアの方々や図書館の協力を得て、絵本と
の出会いや親子で読み聞かせを楽しむ機会をアウトリーチ型で一組でも多くの親子に提供します。

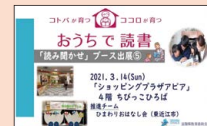
② 「おうちで読書」読み聞かせブース出展の様子

Q もっと知りたいのだけれど…

③ 子ども読書ボランティア研修会

リーフレットや「おうち
で読書」のマークをダウ
ンロードすることができます。

ブース出展の様子を動画
で見ることができます。



研修会の最新情報を知る
ことができます。



自分らしく豊かに生きていくために、「読書」はとても大切なものです。
とりわけ、親子が同じものに向き合って過ごす絵本の読み聞かせは、
共に育つ大切な時間です。
私たちの家庭に、読書習慣を根づかせましょう。

このリーフレットは、「絵本で子育てを楽しむ」（文部科学省）（<http://www.kodomodokusyo.go.jp/yomikikase/>）の内容をもとに作成しています。



のぼり旗の貸出
もできます！

問合せ先

滋賀県教育委員会事務局生涯学習課

〒520-8577 大津市京町四丁目1番1号

TEL 077-528-4654 FAX 077-528-4962

MAIL ma06@pref.shiga.lg.jp

令和4年（2022年）2月発行



滋賀県教育委員会



「おうちで読書」のすすめ

「おうちで読書」とは、家庭で読書の習慣を身に付け、発達段階に応じた読書活動をとおして親子の思いを伝え合い、コミュニケーションを図る 取組の合い言葉です。決まったルールやスタイルはありません。



1 子どもと絵本の出会い

子どもは、お父さんやお母さんや家族の心地よいことばのひびきを覚えています。



語りかけられたことを覚えていきます



コラム1

子どもは、ことばを耳で覚え、
どんどん新しいことばを吸収して
いきます。



ハッピーバースデー
絵本をプレゼント



ブックスタート※1

※1ブックスタート：保健センター等で行われる0歳児健診の機会に、絵本を通じて親子のふれあいを深め、子どもの言葉と心を育むことを支援するために、各地域においてすべての赤ちゃんと保護者にメッセージを伝えながら絵本を手渡す取組。

2 絵本を見る、お話を聞く



コラム2

親子間のコミュニケーションにより、オキシトシン（愛情ホルモン）が分泌されたり、ストレスに強い心を育てる効果があるという研究結果もあります。



3 親子で継続していっしょに読み聞かせ

読み聞かせは、ことばだけでなく、こころも豊かに育てます。



コラム3

読み聞かせを続けていくうちに、
子どもの興味・関心が広がり、情緒
が豊かになっていく様子を実感でき
るようになっていきます。



字が読めることと、おは
なしがわかることは別の
ことです。子どもでも、
大人でも、耳でお話を聞く
ことは心地よい体験です。
子どもが望む間は読み
聞かせを続けましょう。

4 読書ブースでの読み聞かせ、絵本を通じたイベント等に参加



商業施設、市町のイベントや幼稚園行事等の会場の一角に「おうちで読書」ブースを出展し、読書ボランティアの方々や図書館の協力を得て、絵本との出会いや親子で読み聞かせを楽しむ機会を提供します。子どもたちが絵本に夢中になる姿が見られます。みなさんもぜひご参加ください！



コラム4

子育て中の親子やボランティアの人たちと交流する機会となります。

親子でいっしょに絵本の楽しさを味わう時間を！

「読み聞かせ」のコツ

0歳

大丈夫です！何歳からでも
安心してはじめてください。

6歳

小学生も読み聞かせは
大切です。

音やリズムが楽しい時期

ひざに乗せて よりそって 子どもと楽しくふれあう

自然な声色で ことばを聞かせてあげるつもりで

子どものペースに合わせて お気に入りや何度でも

ことばやジャンルを広げる時期

掲載した読み聞かせのコツや
時期は参考です。子どもの発達
段階や特性、興味・関心によって
異なることが考えられます。
それぞれの子どもに応じた読み
聞かせを大切にしたいですね。



文字を覚え始めても読み聞かせは続けて

物語の世界に浸る体験 興味・関心を広げて

※音やリズムのよい絵本、布の絵本やさわる絵本、
点字絵本、CD絵本など、様々な絵本があります。
ぜひ子どもにあった絵本を探してみてください。

「読み聞かせ」の効果

1 「ことば」と「こころ」 を育てます

子どもは、家族のあたたかな声の響きとぬくもりを感じて満足し、人と言葉で気持ちを通す喜びを感じます。

言葉を学ぶことで考える力が育ち、人と
かかわろうと
する気持ちが
育ちます。



2 家族への信頼が 深まります

絵本や本をとおしてふれあう時間は、家族にとって楽しいひとときになり、子どもの家族への信頼が深まります。

読み手も、子どもと同じ世界を共有できるのでコミュニケーションが深まり、親子の絆が増していきます。

3 「読み解く力」※2の 基礎をつくります

本県では、子どもたちがこれからの社会で生きていくために必要とされる「読み解く力」の育成に取り組むこととしています。

本が作る言葉の世界にふれることで、語彙力、表現力、想像力、集中力を高め、「読み解く力」の基礎をつくります。

※2「読み解く力」には、文章や情報を正確に読み解き理解する力と、相手の言葉やしぐさ、表情などから、相手の意図や思いを読み解き理解する力の2つの側面があるものと捉えています。